

年
組
番
名前

1 次の文章は、ある物語の一部です。この物語の中で、主人公のローワンは自分たちの住んでいるリンの村を救う者として選ばれました。ローワンは、村人が自分をどのように見ていると感じていますか。もっともふさわしいものをあとの1から4までのなかから一つ選んで、その番号を書きましよう。

ローワンは、恐怖と孤独と恥はずかしさを、どれも同じくらいひしひしと感じていた。もう耐たえられなかった。村人たちが痛いたましげな目で自分を見ることに、耐えられなかった。だれもが、「なぜこの子なんだ？ リンの中でいちばんいくじのない子なのに」と思っているにちがいない。それなのに、運悪く村を救う者として選ばれてしまうなんて！ みんなを失望させることしかできないのに！

(エミリー・ロッダ さくまゆみこ訳 『ローワンと魔法まの地図』あすなる書房 による)

- 1 村人は、ぼくが一人でさびしく生きていくことに耐えられないだろうと見ている。
- 2 村人は、村でいちばんいくじのないぼくが選ばれたことをかわいそうだと見ている。
- 3 村人は、ぼくが困こまっている村人を思いやることができる強い心をもって見ている。
- 4 村人は、ぼくが村の子なのだから村を救うものとして選ばれるのは当然だと見ている。

答え

1 次の文章は、ある物語の一部です。この物語の中で、主人公のローワンは自分たちの住んでいるリンの村を救う者として選ばれました。ローワンは、村人が自分をどのように見ていると感じていますか。もっともふさわしいものをあとの1から4までのなかから一つ選んで、その番号を書きましよう。

ローワンは、恐怖と孤独と恥はずかしさを、どれも同じくらいひしひしと感じていた。もう耐えられなかった。村人たちが痛いたましげな目で自分を見ることに、耐えられなかった。だれもが、「なぜこの子なんだ？ リンの中でいちばんいくじのない子なのに」と思っているにちがいない。それなのに、運悪く村を救う者として選ばれてしまうなんて！ みんなを失望させることしかできないの！

（エミリー・ロッダ さくまゆみこ訳 『ローワンと魔法の地図』あすなろ書房 による）

- 1 村人は、ぼくが一人でさびしく生きていくことに耐えられないだろうと見ている。
- 2 村人は、村でいちばんいくじのないぼくが選ばれたことをかわいそうだと見ている。
- 3 村人は、ぼくが困こまっている村人を思いやることができる強い心をもって見ている。
- 4 村人は、ぼくが村の子なのだから村を救うものとして選ばれるのは当然だと見ている。

答え

2